

東由利村報

No. 114 1967.1.1



あけまし 達の村がこんなによくなつておめでとう御座います。新年にあたって特に感を深くすることは本年も平和

で幸福なよい年でありたいと願うことであります。

大きくて国家的対立の排除から小にしては対人の争いまで、この社会から駆逐したいものであります。それには先づお互心身共に健康で社会に順応する豊かな思想の安定

を持つことが極めて大切なものです。

新年の御挨拶

村長 阿部直一郎

今日の日本で進行しつつある社会の変化は急速であり激烈である。さけられないばかりでなく望ましい面までふくまれているが、全体を見通し打つべき手を打たないと犠牲者が出る。競争が片寄ったものとなって人間らしさが失われる恐れがあり、政治家も政府も企業家も教育者も、真剣に本格的に考えなければならぬ。

私共の理想とする「住みよい村作り」「明るい家庭作り」を強力に進めて行くためには、お互いみんな手を結びあって仲良く何事にも当らねばなりません。私

方針で編成にあたりたい方針で編成にあたりたい考え方

ことに正月から各家々の「消費経済」に留意して無駄を省き生産の増強に特段のお力をつくされますよう創意工夫をして戴きます。

出稼の方々も多数あるので、留守を守る家族の方々子どものことや火の元に注意しとくに幼児の交通事故に注意して下さい。

どうか各家庭の無事故無火災をお願して新らしい年をお迎え、心からお喜び申上げまして、私の新年のご挨拶といたします。

今年のぞみ

年頭にあたり、村のいろいろな方面から新しい年にかかるのぞみを聞いて見た。

東由利酪農部

12月7日幹部32名が集まって、村の酪農の現況を分析し、問題点の解決によって将来

発行
東由利村役場
毎月1日発行
定価1部5円
印刷
KK本間印刷所

の振興方法について話し合つた。

①自給飼料について

自給飼料の不足は酪農振興の大きな障害である。村平均に見て乳牛1頭当たりの採草地面積は19アール飼料畑9アールで面積が絶対的に不足である上、手入が不充分で10アール当たり生草3000K内外の生産量しかない。この粗飼料の不足分は、若林地区に新たに造成した11ヘクタールと既墾分17ヘクタール計28ヘクタールの草地の草を最高度に利用することだ。

②仔牛の育成と販路

これまで県内は、ホルスタイン地区とシャーリー地区に区分されていて、シャーリー地

区でなければシャーリーの仔牛は売れなかつたが、このたびその区別がなくなり、どこにでも売れるので、移出がのびる望みがある。

③飼育の多頭化

村内には1頭飼育が38.6% 2頭飼育が30.7% 3頭飼育以上が30.7% でほぼ3分の1づつとなっているが、今後お互頑張って3頭以上の酪農家を70%に引き上げよう。

④頑丈な牛に

放牧場を利用して丈夫な牛を育てるこことつとめよう。

⑤牛乳の3合呑み運動

現在酪農家の牛乳を飲む量は1戸当たり1.09Kとなっていけるが、これは余りに少な過ぎる。少くとも1人当たり3合を飲む運動を起そう。

⑥乳価について

今までのシャーリー乳価は、年間平均生産者手取りK当たり約42円であったが今回乳価の値上がりでK当たり約48円となつた。



酪農座談会

構造改善計画

1. 補助事業

区画整理は40年度44.1haでこれは完成、41年度は25haで事業は今年に残るが、42年度の計画にはない。

今年の計画は

草地造成16ha、牧道2000m、牧場柵5000m、飲雑用水施設一式、事業費小計7,795千円

経営近代化施設

トラクター1セット、追込舎1棟、壮蚕共同飼育所3棟、事業費総計686万円

2. 融資単独資業

これは希望者のためにわくを

とって置く分であるが、これまでの例によると希望者は計画を上廻っている。

協業の部

○糞乾燥調製施設1棟、コンバイン2台、動力防除機2台、農機具格納庫1棟、共同乳牛舎1棟、乳牛導入10頭、壮蚕共同飼育所15棟、運搬車1台 小計27.841千円

個人の部

乳牛導入80頭、乳牛舎8棟、サイロ25基、ミルカー8台、小計15,39万円。

税務課

ここでは「納稅完納連続2 (2面へ続く)

(1面から続く)

年」を目指して全課一体の努力をつづけているので、その現況と今後の見通しについて見て見た。

11月30日現在の納税率は昨年にくらべて10%以上ものびており、第1位の納期内完納は昨年3組合であったものが11組合にふえたし、第2位の2月末完納も昨年は14組合であったが、今年は29組合が確実に達成出来る見込みである。

残り26組合についても年度末を待たず早期に完納出来るよう協力を求めているので、決して楽観しているわけではないが、見通しは明るいと思ってがんばっている。

経済課林業係

今年の計画は、直営40ha 12万本、分収林15ha 4.5万本、入合林3ha 9千本、計48ha 17.4万本で、この計画は必ず達成する決意であるが、問題は村有地のうち採草地として部落に經營を任せ置いた土地で、広大な面積が野放しになっているので、これを活用するために、実体を調査する準備をしている。

森林組合

民有の補助造林は130haを見込んでいるが、その大部分は杉である。41年度の植付検査によると、調査された95.7haのうち松類はわずか1.62haに過ぎなかった。

私有林は大てい計画造林をやっているので、急に伸びることもないが、著しくへるようなこともない。それでも今年は去年の10%位は伸びている。

土木関係

これは県に対する要望であって確定したものではない。詳細は確定後にお知らせする

昭和42年度県単事業要望

道路

①寺田、改良、400m

②松沢、"

③須郷、" 750

④野中、舗装	400
⑤岩館、"	2,300
⑥白沢、改良	1,300
⑦大平、"	1,000
⑧五海保、側溝	180
⑨八日町、"	36
⑩新田、"	100
⑪大琴、"	300

橋改良(補助要望)

石田坂橋・上里橋・若宮橋
沖田住吉橋

たばこ耕作組合

増反と增收

今年の収納で、反当代金は平均91,000円・最高122,850円で増田専売公社管内でもよい方の成績であった。

たばこ耕作も今では農家にとってなくてはならぬ副業になり、耕作意欲は年々高まって来ておるが、外の作物とちがい専売公社の許可がなければ作られないところに難点があり、来年の増田管内全体の増反は僅かに5haだけで、そのうちやっと1haのわくをもらいました。(由利郡ではそれだけ)

今年から収納所は横手になりますが、運搬費は公社負担たばこの価格も7%ほど高くなるので、反当96,000円はかないところ、10万円目標も夢ではない。増反と增收を目指してお互いに頑張りましょう



あけましておめでとうございます。あっという間に1年がすぎてしましました。昭和41年を振り返って見ますと、村も随分伸びたものと考えます。これは一重に村民各位の一致団結の賜です。私は県或いは郡の議長の方々とつき合い色々話を聞いておりまし実際にも見ております。うねぼれかもしれません、色々の点で決して他の町村より見おとりしているとは考えておりません。

一家にたとえますれば、親父が家族をいたわり、家族が親父を助けてはじめて豊かで円満な家庭が築かれるものです。それと同様に村としましても、村長を主軸として村をよくするという目標のもとに全村民が前向の姿勢で進むならますますよい村が築かれるのではないかと思われます。

新年の御挨拶

東由利村議会議長

佐藤与吉郎

現下の国情を見ますと政府自民党は総裁選挙まではよいが、その後は柱が2本も3本もたって政争の具に供してよい政治が出来るわけございません。情ないかぎりです。幸にも本村においては村長を柱として議会も村民も前向の姿勢で取り組んでおります。村の骨ぐみもほぼ完了しております。あとは肉をつけ骨を太らせるだけでございます。

然しながら農業構造改善・林業構造改善・道路整備・出稼対策等々色々の問題が山積しております。これからが一番大切な時です。

今年は最も大事な首長の改選の年ですし、村は最善の油のりきっている時です。

現状のままで村民和合のかたまりを強め、時勢におくれず、政争のない明るい村としてよりよい村としてよりよい肉をたっぷり着けるよう前向の姿勢で上に向いてあるこうではありませんか。

山崎児童館 立派に完成

山崎・五海保・久保3部落では共同で数年前から計画していた児童館が完成した。

9月10日着工、11月18日完工、12月9日に由利福祉事務所長(代理)村長・議長・助役・住民課長・公民館長・小中学校長などの参列のもとに3部落の親達が集まって完工式をあげた。

工事費は敷地買収費13万円・整地費207,500円・建設費95万円・設計料1万3千円・諸雑費82,300円・計1,382,800円である。



山崎児童館
立派に完成



児童代表謝辞

郷土史夜話

③ 新町の薬師様



高薬師山はもと「手こない山」といった。それが現在の新町の薬師様が祀られるようになって高い山の薬師、つまり高薬師山という通称で呼ばれるようになつた。

薬師様は天護内大権現で山号を淨光山帝昌寺といい元和7年(1621)小松千代太さんご先祖が開基したものといわれる。そして薬師如来像はその背刻によつて宝永4年(1707)館前村小松儀兵衛尉盛房が武藏国本庄の国松治兵衛藤原家久に命じて鋳造し奉納したものであることが知られる。

それからしばらく時代が下ったある日、何ものか悪党によって両手と光背がもぎとられるという災難にあった。その当時のことカーナー、カーンという異様な音がふもとの老方に聞えたという伝えが今も残っている。



その災難にあってから如来像は西ノ浜の現在地に移されたが、これがいつ高薬師山に上げられ、そしてまた下らされたか、時期は、はっきりしない。ただ元禄7年(1694)の古来聞書によると「老方西ノ浜に建立す」とあるので当時は西ノ浜にあったことになり、それから7年後の宝永4年に前記如来像が鋳造されているからこの像

ができるから山に上げられたものと考えられるし、また現在地に移された時期は現在のお堂の棟書に天保13年(1842)とあるのでその時移されたものと考えてよいのではないか。

もぎとられた両手の復元は千代太さんの意志をついだ丸山当逸氏夫婦が中心となって尽力され、昭和37年に古代色も往時そのままみごとに復元された。

県の文化財指定の話しもあったが、奈良環之助先生の説明によると仏像等は室町期以前のものを重点に保護指定しているとのことこれの実現はもっと先のことになりそうである。県の指定はともかく、村では数少ない文化遺産の一つとして大切に後世に伝えていかなければならぬだろう。

葉たばこの収納

収納額、1250万円

41年度葉たばこの収納は、12月2日から6日まで老方小学校で行なわれた。

本年度の実績は、総量目25,800kgで前年より約3,000kgの減量であったが、kg当たり代金は平均470円(昨年は415円)であったので、総売上代金は1,250万円で昨年より50万円ほど上廻った。

反当代金の最高は法内遠藤貞次さんの122,850円、収納代金の最高は泡ノ淵の小松田忠之助さんの301,150円(耕作反別3反6歩反当95,860円)で、耕作者134名中反当10万円以上が34名であった。

明年からは収納所が横手になるので耕作者が減るのではないかと心配したが、組合長さんの話によるとかえって増反の希望者が多く、その心配がないとのことであった。

生活を事故から守ろう

みんなの生活はみんなの力で守らなければならない。が、それはひとりひとりの心がけが根本である。中でも特に注意しなければならぬことは

①交通事故

我が村は県内でも交通事故の多発地区として注目されているが、昨年はその上にさらに大きな実績を積みあげてしまった。次は41年中のわが村の交通事故の実績である。

- 物件事故(車や物をこわしたもの) 3件
- 人身事故 9件(死者3)
- 法令違反 159件

うちわけ、無免許運転73、酒呑運転9、免許証不携帯17、その他60 合計171件

- これから雪道には、バイクでもスノータイヤかチェーンをかけたものでなければ違反になります。

② 火災予防

村からは530人以上も出稼が出て行きました。そのために消防団の分団の中には29人

の団員のうち残ったものは9人だけ、それも遠く部落に散在しているようなところがあり、いったん大事になつたらと。地元でも村でもその対策に苦心している。どんな対策よりも何よりも火事を出さないことが一番大切である。

「無火災様々」でこまかく注意いたしましょう。

村育英資金に100万円

小野仁助氏寄付

長年にわたり村のいろいろな方面に多大の財政協力をして感謝されている小野仁助さんから、「村育英事業推進のための寄付金」として、12月15日現金100万円がおくられて來た。

ふたたび農村集団電話について

この事業は始め村内的一部の熱心な地域から起つた運動であるが、今では村全体の共通の問題になっている。従つて老方郵便局長が責任主体で村が後援するという全村一本の運動で進むということは、村報12月号で、局長・村長・議長の連名で声名したとおりである。

老方本荘間のケーブルの問題なども早期解決の方法を講じて、今年中には架設を終える予定であるから、加入申込者は安心せられたい。

田ノ沢林道検査

12月15日本莊営林署佐々木課長以下3名が、田ノ沢林道(善徳)完工検査のため来村完工を確認した。

同林道は延長500m・巾3m・工事費200万円である。

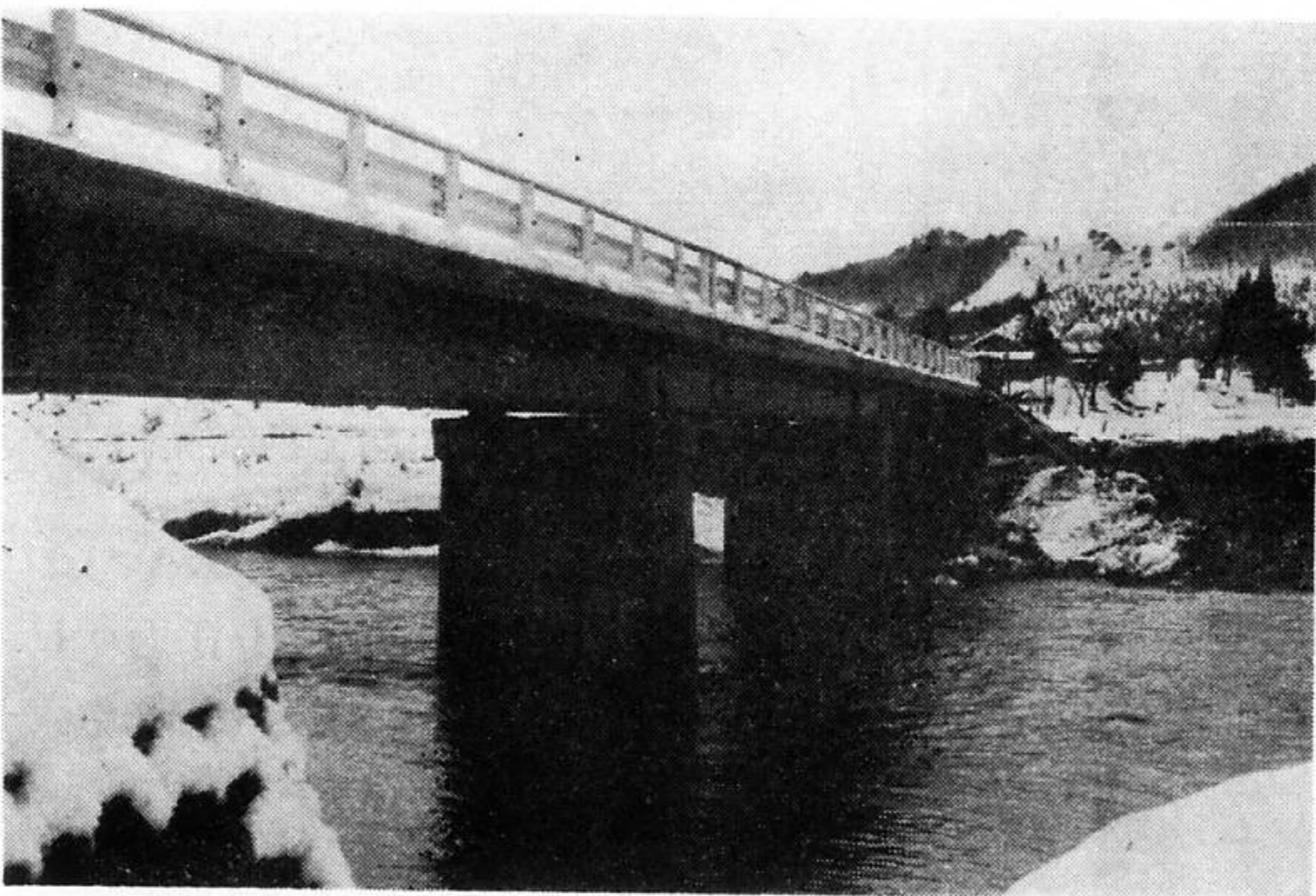
1月の納税

村民税

国民健康保険税

各4期の納期日です。

完納にご協力願います。



鳴宮橋完工

工事費、1014万円

8月5日大沼組により着工以来、いかなる悪天候の日も休むことなく夜業も加えて工事を進めていた島宮橋は12月25日見事に出来上って我が村に新たなる偉観を加えた。

島宮橋架替工事々業概要

橋長58.5m、(旧橋長31.5)
巾員4.5m、(〃2.5m)

構造、下部工

橋台、重力式鉄筋コンクリート

橋脚、逆丁型鉄筋コンクリート

上部工

H型鋼合成桁
(H・B・B・C)

鉄筋コンクリート床版

着工、8月5日

完工、12月25日

国庫補助 $\frac{2}{3}$ 676万円

村負担、 $\frac{1}{3}$ 338〃

定時制全国大会入賞の高橋和子さん

バイクに必ず保険を 「バイクも保険にはいらない れば走れません」

昨年10月1日から強制加入制度となりましたので、すでに加入の手続をすましておられる方だと思いますが、自治省行政局長から広報紙により住民に周知されるよう依頼がありましたので要点をかかげることにいたします。

強制保険に加入して保険金（普通2,540円）をかけますと保険証明書とステッカーが渡されます。

- 証明書はバイクを使うときには必ず持っていること
- ステッカーは所定の場所に貼っておくこと。

保険金の支払い

この強制保険にはいっていれば、万一事故を起した時も被害者に対して支払った損害賠償金のうち、死亡なら150万円、傷害なら50万円までは保険会社から保険金として支払ってもらえます。

責任共催事業

また今度の法律改正で農協の行う責任共済事業が始まりましたので軽自動車とバイクに限り、責任共済にはいれば強制保険にはいったと全く同じです。

被害者はあきらめるな
ひきにげ事故の被害者や、

相手が強制保険加入義務違反の無保険車のため保険金をもらえない被害者は、国がその損害をうめ合せる制度がありますから、あきらめずに請求して下さい。

請求の手づきは近くの損害保険会社又は農協の窓口として下さい。

名物になつた

八塩ダムの鯉

「ダムの鯉」といえば我が村の味覚の王者として誰知らぬ者もなくなった。我が村だけでなく一度味わった者は忘れられないという。

清澄な水と広い場所で自由に育ったせいか、脂肪も適度で肉のしまりもよく天然のものよりもすぐれている。

紙に包めば遠方に運んで泳がせることも出来る。豪勢なおみやげとして重宝がられて



いる。

指圧療法講習会

法内婦人会員はかねてから健康保持に強い関心を持っており、12月12日大庭千代実氏を講師に「指圧療法」の講習会を新児童館で行った。

参加者は男6名女25名で、午前中は講演、午後は一人一人について施術と指導にあたった。施術しながらそのやり方をくわしく説明するので、それを見ながらききながらお互のからだで練習をした。教える者もきく者も真剣に前後4時間余にわたって練習したのでどうにかまね事位は出来るようになった。みんなが余り熱心なので大庭さんは来年も来るという。みんなは家に帰って家族をもみほぐそうとはり切っていた。

おたがいに、からだにじかにふれあって、からだも心もすこやかに、明るくたのしい生活をつくり上げるようにと願う。

41年12月5日現在

出かせぎ実態調査

出かせぎ対策協力員によつて調査中の「41年度出かせぎ調査」の結果がこのほどまとまりました。これは12月5日現在の調べですので、その後多少の変化があると思いますが、出かせぎ者総数は531名

（昨年は527名）内男505名女26名、

地域別では、
藏25、老方56、法内69、館合109、住吉122、袖山25となっています。

国旗を立てよう

婦人会が先になって用意したから、みんなのうちに国旗はある筈だ。祝日ごとに胸をはって、みんながそろって国旗を立てよう。

…朝日ののぼる勢見せて…
村づくり・国づくりのねがいをこめて国旗をたてよう。

